



△サッカー教室で行われたミニゲームの様子

上浦小学校でサッカー教室 休校前の思い出に

2月2日、県内のサッカー指導者らでつくるNPO法人スポーツ巡回ネットワーク主催のもと、令和4年度末で休校となる上浦小学校でサッカー教室が開かれ、6年生3名が参加しました。

本市を拠点として活動するFC徳島の選手らも参加し、ボールの蹴り方やドリブルのアドバイスを送られたほか、吉野川青年会議所のメンバーや原井市長も加わり2チームに分かれて試合形式でミニゲームが行われました。NPO法人スポーツ巡回ネットワークは、過疎地や在校生の少ない学校などを訪問し、スポーツに触れる機会を提供する活動を2019年から続けています。

「川島小学校プラスバンド・カラーガード」徳島県代表に

2月1日、「2023全国小学校管楽器合奏フェスティバル」(第40回西日本大会)への出演を報告するため「川島小学校プラスバンド・カラーガード」の6年生2名が市役所を訪れました。

この大会は、管楽器活動を通して交流を深めるとともに未来を担う子どもたちに豊かな情操を養うことを目的としており「川島小学校プラスバンド・カラーガード」の皆さんは徳島県代表の3校に選出されました。



△「川島小学校プラスバンド・カラーガード」のお二人と

多文化共生交流会を開催



△きらきら星を中国語、インドネシア語、日本語で合唱

2月19日、吉野川市国際交流協会の主催で多文化共生交流会が初めて開催され、71名が参加し盛大に楽しい交流会が開催されました。フィリピン、ベトナム、中国、インドネシア出身の11名が、順に出身国の自然、食べ物、民族衣装、お祭り、有名な観光地などの写真を映写して紹介しました。

また、中国手品、インドネシアの踊りが披露されたほか、参加者みんなが参加してベトナムのバンブーダンスや「きらきら星」を中国語とインドネシア語、日本語で合唱し、参加者全員で楽しみました。交流会では、会場から多くの質問があり、4カ国の出場者が上手な日本語で一生涯懸命答えていました。



あべもとあきら
阿部元明さん
(川島町桑村)
大正12年2月16日生まれ

100歳の誕生日おめでとうございます

2月16日、阿部元明さんが100歳の誕生日を迎えられました。阿部さんは川島町で生まれ、戦後は農業に従事後、働きに出て退職後は脊椎管狭窄症の2度の手術と向き合いながら、家庭菜園や花作りに励んでいます。朝食後、新聞を読み終わったら、畑で野菜作りをし、昼食は栄養満点の特製雑煮を自ら作っています。午後からは、ルービックキューブや家庭菜園、数独などをして過ごされています。長生きの秘訣は、肉やチーズ類を食べ、毎日外へ出て動くことだそうです。

誕生日当日はご家族に見守られながら笑顔で祝い状を受け取られました。

2月16日、宮本ミチ子さんが100歳の誕生日を迎えられました。宮本さんは現三好市池田町に五男四女の三女として生まれ育ちました。結婚後、三好市井川町に住み、夫婦仲良く商店を支えて2人の子どもを育てました。宮本さんは、おらかな性格で、裁縫、料理などを楽しみながら日々をまめまめしく働いてきました。丈夫な身体を持ち大きな病も得ず、現在は市内の施設で穏やかな日々を過ごされています。長生きの秘訣は、「好きなものを食べること」「娘が持ってきてくれる手紙や絵本を読むこと」だそうです。

誕生日当日はご家族に見守られながら笑顔で祝い状を受け取られました。



みやもとみちこ
宮本ミチ子さん
(鴨島町鴨島)
大正12年2月16日生まれ

吉野川市内の100歳以上の長寿者は44人(女性39人 男性5人)になりました。

「生活不活発病」予防のポイント
毎日の生活の中で活発に動くようにしましょう

高越ファイヤートルネード 全国小学生タグラグビー大会出場!

2月21日、本市のタグラグビーチーム「高越ファイヤートルネード」の皆さんが、「SMBCカップ第19回全国小学生タグラグビー大会」への出場を報告するため市役所を訪れました。各選手から自己紹介と大会への抱負が語られ、市長からの激励の言葉に対して、豆城キャプテンがお礼の言葉を述べました。

高越ファイヤートルネードの皆さんと



「ふるさと対話集会」が開催されました

2月14日、川島高等学校1年生の皆さんが市役所を訪れ、「地域課題の解決」をテーマに「ふるさと対話集会」が開催されました。

「ふるさと対話集会」は、本市のこれからについて市長と語り合い、市民や市にゆかりのある方の声を市政に反映していくことを目的とし、市民協働によるまちづくりを目指しています。今回は、人口減少や空き家対策、産業振興、学校施設の充実などについて、探究学習で考えた解決策などの発表を交えながら、市長と意見交換を行いました。



△川島高等学校1年生の皆さんと



△大塚未流依さんによる代表謝辞

吉野川市スポーツ協会表彰式

2月18日、日本フネン市民プラザで、令和4年度吉野川市スポーツ協会表彰式が開催されました。

表彰式では、47人の被表彰者が参加し、本市における体育の振興に努力し、その功績が顕著な者および各種大会で活躍した小中高生・大学生にそれぞれ体育功労者表彰、優秀児童生徒表彰、スポーツ優秀者表彰が授与されました。

表彰のあと、被表彰者を代表して川島高等学校3年生の大塚未流依さんがお礼の言葉を述べました。

「五九郎マルシェ」お店屋さんになって子ども店長体験

2月19日、鴨島駅前秘密の裏道「稲荷通り」で、鴨島駅前商店街を拠点に街の活性化に取り組む「かもじま五九郎まちづくり株式会社」主催のもと「五九郎マルシェ」が開催され大勢の方で賑わいました。

「五九郎マルシェ」は昨年11月から毎月第3日曜日に開かれており、今回は小学生を対象に働く楽しさや社会の仕組みを学んでもらおうと「子ども店長体験」が企画されました。参加した児童らは「いらっしゃいませ!」と元気な声と笑顔で接客を行っていました。 駄菓子屋で「子ども店長体験」に参加した児童ら



△いけばな展の様子

吉野川市芸術祭 第10回合同茶会・いけばな展開催

2月11日、12日の2日間、市文化協会所属の茶道部門と華道部門による合同茶会・いけばな展が文化研修センターで開催されました。

茶会では、初日は裏千家、翌日は表千家の各会員が交代してお点前を披露しました。いけばな展では7流派86人が45点を展出し、幅約2mの大作から個人による数10cmの作品が会場を彩りました。梅やツバキ、シンビジウムなど早春を思わせる花が並び、約800人の来場者を和ませていました。

「生活不活発病」とは、「動かない(生活が不活発な)」状態が続くことにより、心身の機能が低下して、「動けなくなる」ことをいいます。